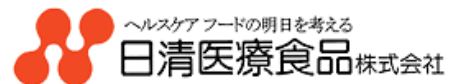


2016年8月7日

各位



問合せ先 総務部広報課 担当：神戸

連絡先 03-3287-3619

ヘルスケアフードファクトリー亀岡(仮称) 地鎮祭を挙行

病院・介護福祉施設での給食委託会社のリーディングカンパニーである日清医療食品株式会社（本社：東京都千代田区、社長：菅井正一）は、京都府亀岡市大井町南部土地区画整理事業地内において、岩槻、名古屋、京都、米子、九州について6カ所目となり、当社として最大規模となる新たなセントラルキッチン（ヘルスケアフードファクトリー亀岡）を設置することとなり、8月7日に地鎮祭を挙行了しましたのでお知らせいたします。

現在、当社は2015年8月に、ヘルスケアフードサービスセンター京都の開設、2015年10月ヘルスケアフードサービスセンター岩槻の工場設備増設、2016年6月にヘルスケアフードサービスセンター九州の工場設備増設、2016年8月にヘルスケアフードサービスセンター米子の工場設備増設（予定）と続けており、今回のヘルスケアフードファクトリー亀岡（仮称）の設立で、より当社ブランドである『モバイルプラス』の製造数が強化されます。

■施設概要

名称	ヘルスケアフードファクトリー亀岡（仮称）
所在地	京都府亀岡市南丹都市計画事業 大井町南部区画整理事業地内保留地（3・4街区） 京都府亀岡市大井町・禊田野町地内
設計監理	中央設備エンジニアリング株式会社
施工	古久根建設株式会社
構造規模	鉄骨造 地上2階建
敷地面積	26,434.47 m ²
延床面積	15,202.71 m ²
用途	工場
工期	2016年8月1日～2017年7月31日（予定）
操業開始日	2017年12月（予定）
製造商品	医療・福祉施設で提供する一般食、治療食、 形態対応食（当社ブランド「モバイルプラス」）

【セントラルキッチンとは】

学校・病院などの大量調理を1カ所で行う施設です。調理コストの低減、食品衛生管理の徹底、専門の栄養士の効率的配置を行うことによる、一定の品質の商品を安全かつ安定的に提供することを目的としています。

【モバイルプラスとは】

モバイルプラスとはセントラルキッチンでクックチル調理した食事を施設のニーズに応じ、真空パックにして配送するサービスです

普通食から治療食までをそろえた持ち運びできる食事であり、医療版、福祉版の2種類あり ①通常食、②全粥食、③塩分6g未満食、④糖尿病食の4食種を展開しています。

■ セントラルキッチン概要

施設名	最大提供食数	敷地面積	設立年
ヘルスケアフード サービスセンター岩槻 (埼玉県さいたま市)	10,000食/日	2,213.73 m ²	2001年2月
ヘルスケアフード サービスセンター名古屋 (愛知県尾張旭市)	5,500食/日	3,326.91 m ²	2006年2月
ヘルスケアフード サービスセンター京都 (京都府亀岡市)	10,000食/日	4,639.09 m ²	2015年8月
ヘルスケアフード サービスセンター米子 (鳥取県米子市)	7,500食/日	3,000.21 m ²	2007年2月
ヘルスケアフード サービスセンター九州 (佐賀県神埼市)	10,000食/日	5,613.00 m ²	2010年4月
ヘルスケアフード ファクトリー亀岡(仮称) (京都府亀岡市)	100,000食/日	15,202.71 m ²	2017年7月 (予定)

【完成予想図】



【建設工事請負契約における古久根建設株式会社との調印式の模様】



以上